

平成21年度 事業報告

特定公益増進法人

財団法人 日本レクリエーション協会

< 目 次 >

平成 21 年度の事業報告の概要

1 . レクリエーション運動の担い手（公認指導者）の育成 4
(1) 都道府県レクリエーション協会と連携した公認指導者養成の拡充	
(2) 大学、短期大学等の高等教育機関と連携した公認指導者の育成	
(3) 高い専門性を持った公認指導者養成事業の実施	
(4) 公認指導者の知識・技能等の審査・認定のための諸事業の実施	
2 . 公認指導者への活動支援及び活動促進を通じたレクリエーション運動の推進 12
(1) 都道府県協会と連携した公認指導者への支援の充実	
(2) 日本協会による直接的な公認指導者支援の実施	
3 . レクリエーションの普及・啓発による社会への貢献 20
(1) 全国レクリエーション大会等、国民一般への啓発事業	
(2) 加盟団体との連携協力による事業	
(3) 国等との連携・協力による生涯スポーツの普及・振興に関わる事業	
(4) 情報提供の促進	
(5) その他のレクリエーション活動の普及・啓発に関わる事業	
4 . レクリエーション活動のための教材・用具等の販売 33

平成 21 年度加盟団体一覧

レクリエーション公認指導者一覧

平成 21 年度の事業報告の概要

平成 21 年度は、新人材養成制度における新しい登録のしくみへの移行 2 年目であったが、当初の想定以上の新規登録者の減少等により、大幅な減収となり、今までにない厳しい収支結果となった。年次計画作成時には、先の介護福祉士養成制度の見直しや、少子化及び介護職離れ等の影響による課程認定校数の減少傾向を察知し、新規登録者の減少についてはある程度想定して、事業計画においてその対応策を講じた。例えば、介護福祉士養成カリキュラムと対応した履修モデルの PR や介護職員等現任者研修を通じてのレクリエーションの効果に関する福祉施設への周知等の取組みにより、認定校の減少に若干歯止めはかかったが、認定校で開講しているレクリエーション講座における受講者数の激変と経済状況の悪化等によると考えられる受講後の資格取得者数の減少、さらに各地域の養成事業からの新規登録者の減少など、ここ数年の指導者養成事業の活性化策だけでは、追いつかない状況になっていると考えられる。

このような状況における平成 21 年度の各事業の実施であったが、新公益法人制度に対応した公益財団法人への移行申請を視野に置き、「レクリエーション運動の担い手（公認指導者等）の育成」、「公認指導者の活動促進を通じたレクリエーション運動の推進」、「レクリエーションの普及啓発による社会への貢献」という三つの公益事業を柱に、各施策、事業に取り組んだ。レクリエーション運動の担い手の育成事業と公認指導者の活動促進事業については、各都道府県レクリエーション協会、課程認定校研究連絡会議等と協力し、公認指導者の拡充に向けて取り組んできた。普及・啓発事業については、文部科学省の委託事業、子どもの体力向上推進事業「おやこ元気アップ！事業」や「全国いつでもチャレンジ・ザ・ゲーム」の一環で実施した「ロープ・ジャンプ・エクストラ小学生全国大会」など、各都道府県レクリエーション協会との連携協力とテレビ放映などの効果もあり、全国的に認知される機会を得たのは大きな成果といえる。さらに種目団体・領域団体との連携事業についても、全国レク大会、スポレク祭、あそびの日キャンペーン事業、国立オリンピック青少年センターとの共催による研修事業等を通じて、昨年以上に広がりが生まれてきたといえる。また、各都道府県レクリエーション協会の協力による介護予防・認知症予防ボランティア・サポートセンターの設置についても、概ねすべての協会にサポート組織を設置することができ、今後、各方面からのレクリエーション協会、指導者への要請の広がりという点での可能性が見えてきたことも成果と言える。

今後は、平成 21 年度の厳しい収支結果に対するより客観的な検証を行うとともに、さらに厳しい社会的状況が続くと予想される中、この難局をどのように乗り切るか、より一層組織が一丸となり、碎身の努力と実行力を持って対応することとする。

1. レクリエーション運動の担い手（公認指導者）の育成

(1) 都道府県レクリエーション協会と連携した公認指導者養成の拡充

1) 養成事業助成

新規地域におけるレク・インストラクター養成講座（全カリキュラム）及び、レク・インストラクター養成カリキュラムの一部を活用して実施するフォローアップ研修会やボランティア研修会といった修了証制度を活用した講座への助成を行うことにより、新たな仲間やレクリエーション指導者、担い手などの養成を行うことができた。また、これらの養成と具体的なレクリエーション事業との連携を図ることで、より現場に近い指導者の養成へとつながった。

新規養成助成：*助成地区：3協会

実地団体	実施地区
埼玉県レク協会	越谷市
岐阜県レク協会	揖斐郡池田町
長崎県レク協会	県央地区(大村市、諫早市)

*助成額：1件 50,000円

カリキュラム運用助成

*助成地区：4協会（5地域）

実地団体	実施地区
埼玉県レク協会	春日部市、久喜市
福井県レク協会	福井市
福岡県レク協会	北九州市
佐賀県レク協会	唐津市

*助成額：1件 30,000円

2) 高齢者・障害者のスポーツ・レクリエーション活動を支援する指導者学習プログラム開発モデル事業～スポーツ振興くじ助成事業～

スポーツ振興くじ（toto）助成を活用し、高齢者、障がい児・者のスポーツ・レクリエーション活動を支援する質の高い指導者を養成する学習プログラムの開発と、3つのモデル地区における指導者養成事業を開催し、約100名の指導者が誕生した。

また、同様の趣旨で独自に養成講座を実施する都県レク協会に対し、学習プログラムを伝達する機会を設けるとともに、モデル地区の成果を広く発信するための媒体を作成し、都道府県及び市区町村教育委員会への普及を図った。

モデル事業実施地区

福井県レクリエーション協会（福井市） 山梨県レクリエーション協会（大月市）

静岡県レクリエーション協会（静岡市）

学習プログラム説明会

開催日：平成 21 年 7 月 25 日（土）～ 26 日（日）

3) 民間団体を活用した子どもの居場所づくりボランティア教育カリキュラム等の開発事業～福祉医療機構助成事業～

放課後子ども教室等、子どもの居場所づくりボランティアを育成する学習プログラムを開発し、都道府県レクリエーション協会にその展開案を伝達するとともに、各都道府県レク協会にボランティア育成サポート組織を立ち上げるための各種支援を実施した。

その結果、全ての都道府県レクリエーション協会にボランティア育成をサポートする組織が立ち上がり、行政等からの要請に応える体制をつくることができ、都道府県及び市区町村の生涯学習関連部局への情報発信（媒体送付、ホームページ掲載）を行った。

また、学習プログラムをレク・インストラクター養成カリキュラムと連動させることで、修了証制度の活用や新たな人材とのつながりづくりを進めることができた。

講師養成講座及びサポートノウハウ伝達会開催

開催日：平成 21 年 10 月 31 日（土）、11 月 1 日（日）

4) 介護予防・認知症予防ボランティア育成サポートセンター設置支援

子どもの居場所ボランティアと同様に、都道府県レクリエーション協会と介護予防ボランティアの育成を支援する学習プログラムを共有するとともに、各協会にサポートセンターを設置するための支援を実施し、概ね全ての協会にサポート組織を設置することができた。

(2) 大学、短期大学等の高等教育機関と連携した公認指導者の育成

1) 課程認定校での養成事業

平成 21 年度課程認定校 養成課程数

養成する資格種別	養成課程数
レクリエーション・インストラクター認定校	352 課程
余暇生活相談員認定校	3 課程
レクリエーション・コーディネーター認定校	12 課程
福祉レクリエーション・ワーカー認定校	40 課程
合計	407 課程

平成 22 年度課程認定校 養成課程数

「公認指導者養成制度」に基づき、公認指導者の養成を行うことのできる大学、短期大学、専門学校が課程認定審査を行った。

平成 22 年度は、前年度に行われた介護福祉士養成カリキュラム改定の影響や学生募集の厳しさから学校で取得する資格制度の見直しが行われ、申請を取り下げたケースが多く見られた。

養成する資格種別	養成課程数
レクリエーション・インストラクター認定校	335(新規:12、減少:28)
余暇開発士認定校	2(新規:0、減少:1)
レクリエーション・コーディネーター認定校	11(新規:0、減少:1)
福祉レクリエーション・ワーカー認定校	36(新規:2、減少:6)
合 計	384課程(新規13、減少36)

()内は、平成22年度の新規課程数、および上記理由を含めて減少した課程数
「余暇生活相談員認定校」については、平成22年度より「余暇開発士認定校」と名称変

更

2) 課程認定校への活動支援に関する事業

領域別課程認定校集会の開催

レクリエーション・コーディネーター養成課程認定校集会においては、「レク・コーディネーター養成カリキュラム改訂」についてカリキュラム案を示した上で意見交換を行い、改訂の方向性と新カリキュラムの策定に向けたスケジュールの確認を行った。

また福祉レクリエーション・ワーカー養成課程認定校集会においては、福祉レク・ワーカー養成における学習内容の検討が進んでいる旨の報告とその方向性について解説が行われ、その基盤となる考え方の講演「行動変容理論に基づくレク支援の考え方と実際」も行われた。また事前に依頼し「介護福祉士教育における福祉レク・ワーカー養成の取り組み」について、当該校のシラバス紹介と取り組みの実際について発表していただいた。

なお、この事業は課程認定校研究連絡会議との共催で実施した。

資格名	開催期日	会場	参加者数
レクリエーション・コーディネーター	11月15日(日)	大阪社会体育専門学校	15名
福祉レクリエーション・ワーカー	10月24日(土)	名古屋医療福祉専門学校	30名

余暇生活相談員の課程認定校については、調整がつかず開催を見送った。

研究、教育組織の育成、支援及び研究者・教育者の育成、支援

課程認定校研究連絡会議等と連携し、レクリエーションの基礎的、応用的研究を進めるとともに、研究者、教育者の育成、支援に資する助成事業等を実施。

*介護、保育等の領域に学習に即したレクリエーションの学習モデル(モデル・シラバス等)の開発

上記(1)?、?の成果及び福祉レクリエーション・ワーカースクーリング事業も活用しながら、課程認定校教員や現場実践者、研究者と共同し、介護の最新動向に対応するレクリエーション・インストラクター、福祉レクリエーション・ワーカー資格取得の学習モデルを開発した。

* 研究助成事業

課程認定校研究連絡会議と連携し、研究者、教育者の育成、支援及び、関係者で共有できる成果の充実を目指して、13題の授業案、教材開発、効果測定等の研究に対する助成を行った。(成果はレジ・レクリエーション総合研究所所報にて公開する)。

(3) 高い専門性を持った公認指導者養成事業の実施

1) レクリエーション・コーディネーター養成講座

この事業は平成5年以来、文部大臣(当時)から「社会体育指導者の知識・技能審査事業」として事業認定を受けて行ってきたが、平成12年4月1日から、スポーツ振興法第11条の実施省令で、「スポーツ指導者の知識・技能審査事業」となったのを受け、新たにこれに見合う指導者として、総合型地域スポーツクラブを育成・運営できるよう養成カリキュラムの改訂を行った。

平成21年度も、このカリキュラムにより、共通・専門科目の通信講座と集合学習としての講習会をそれぞれ次の通り実施した。特に講習会は、東京都レク協会(主に八王子市レク協会)と大阪府レク協会の協力によりそれぞれの団体が運営する実際の事業を研修テーマに、実践力を高める内容に修正し、講習会も1回増やして実施した。

また、本年度は通信講座の開始を4月1日の1回のみとした。

通信教育課程新規受講生 34名

講習会

全国6会場(3コース各2会場)にて2日間の講習会を開催した。

回数	開催地	開催日程	会場	A	B	C
35	東京	6月20日～21日	新宿ニューシティホテル (東京都新宿区)	20名	-	-
36	大阪	6月27日～28日	大阪社会体育専門学校 (大阪市天王寺区)	13名	-	-
37	大阪	8月22日～23日	大阪社会体育専門学校 (大阪市天王寺区)	-	17名	-
38	東京	8月29日～30日	新宿ニューシティホテル (東京都新宿区)	-	18名	-
39	大阪	9月26日～27日	大阪社会体育専門学校 (大阪市天王寺区)	-	-	12名
40	東京	10月3日～4日	新宿ニューシティホテル (東京都新宿区)	-	-	11名
合 計				33名	35名	23名

2) 福祉レクリエーション・ワーカー養成通信教育課程

今年度のスクーリングにおいては、ケアプラン等の介護計画とレクリエーション支援をより連動させて実施できるようになることを目指し、学習内容の改編に取り組んだ。この成果は、平成 22 年度以降の養成課程全体の見直しに生かす。

なお、スクーリング B プログラムについては、2・3 日目のプログラムを活用して「介護レクリエーション・セミナー」を同時開催し、一般の受講生を受け入れた。

平成 19 年 4 月より平成 23 年 3 月まで、余暇生活開発士やグループレクリエーション・ワーカーの有資格者に向けて、福祉レクリエーション・ワーカー通信教育講座受講への優遇措置（受講に際して通信講座の受講料やスクーリングの参加費、受験料の免除）を行っており、本年度はその 2 年目であった。

通信教育課程の実施

(新規受講生)

第 27 期 (6 月開講)	52 名
第 28 期 (12 月開講)	35 名 (1)
合計	87 名 (1)

() 内は、優遇措置の該当者数
スクーリングの開催

回	開催地	会場	日程	受講者数		
				A	B	計
第 136 回	東京	国立オリンピック記念 青少年総合センター	5/15～17	23	-	23
第 137 回	大阪	アルフィック大阪 大阪社会体育専門学校	5/22～24	11	-	11
第 138 回	東京	国立オリンピック記念 青少年総合センター	6/19～21	-	22	22
第 139 回	大阪	アルフィック大阪 大阪社会体育専門学校	6/26～28	-	10(19)	10(19)
第 140 回	大阪	アルフィック大阪 大阪社会体育専門学校	9/25～27	11	-	11
第 141 回	東京	国立オリンピック記念 青少年総合センター	10/2～4	29	-	29
第 142 回	東京	国立オリンピック記念 青少年総合センター	11/6～8	-	25(17)	25(17)
第 143 回	大阪	アルフィック大阪 大阪社会体育専門学校	11/27～29	-	15(15)	15(15)
合計				64	72(51)	136(51)

大阪会場は、1 日目「アルフィック大阪」、2・3 日目「大阪社会体育専門学校」で実施した。

() 内は一般の受講生数

- 3) 野外活動指導者(2級共通科目通信教育講座、1級共通科目通信教育講座)
- 2級共通科目通信教育講座 1名
日本オリエンテーリング協会 1名
- 1級共通科目通信教育講座 3名
日本オリエンテーリング協会 3名

(4) 公認指導者の知識・技能等の審査・認定のための諸事業の実施

1) レクリエーション・インストラクターの審査・認定登録

区分	審査期日・会場	登録者数
一般	各都道府県レクリエーション協会で実施	1,228名
課程認定校	各学校の学内審査により実施	9,495名
合計		10,723名

2) 余暇開発士の審査・認定登録

区分	審査会期日・会場	受験者数	合格者数	登録者数
一般	平成21年04月17日(東京)	3名	3名	3名
	平成21年07月17日(東京)	1名	1名	1名
	平成21年09月30日(東京)	1名	1名	1名
	平成21年10月16日(東京)	2名	2名	1名
	平成22年01月22日(東京)	1名	1名	1名
一般合計		8名	8名	7名
課程認定校 (4校)	各学校の学内審査により実施	-	-	83名
合計				90名

3) レクリエーション・コ・ディネーターの審査・認定登録

区分	審査会期日・会場	受験者数	合格者数	登録者数
一般	平成21年9月06日(東京)	3名	3名	3名
	平成21年9月13日(大阪)	2名	1名	1名
	平成22年3月06日(東京・大阪)	17名	14名	14名
一般合計		22名	18名	18名
課程認定校 (11校)	各学校の学内審査により実施	82名	80名	70名
合計				88名

4) 福祉レクリエーション・ワカ-の審査・認定登録

区分	審査会期日・会場	受験者数	合格者数	登録者数
一般	平成21年8月22日(東京)	18名	16名	16名

	平成 21 年 8 月 23 日、9 月 27 日 (大阪)	12名	10名	10名
	平成 22 年 2 月 13 日(東京)	16名	15名	15名
	平成 22 年 2 月 14 日(大阪)	13名	12名	12名
一般合計		59名	53名	53名
課程認定校 (46校)	各学校の学内審査により実施	608名	529名	524名
合計				577名

5) 公認指導者資格の更新(平成22年3月31日現在) (単位:人)

資格名	2009年6月更新		2009年12月更新		総数	
	予定者数	更新者数	予定者数	更新者数	予定者数	更新者数
レク・インストラクター	28,971	11,492	2,964	2,080	31,935	13,572
		39.7%		70.2%		42.5%
余暇開発士	367	209	102	81	469	290
		56.9%		79.4%		61.8%
レク・コーディネーター	564	432	185	159	749	591
		76.6%		85.9%		78.9%
福祉レク・ワーカー	2,088	1,214	177	152	2,265	1,366
		58.1%		85.9%		60.3%
のべ人数	31,990	13,347	3,428	2,472	35,418	15,819
		41.7%		72.1%		44.7%

6) 公認指導者数(平成22年3月31日現在)

資格名称	人数
レクリエーション・インストラクター	95,549名
余暇生活相談員	206名
レクリエーション・コーディネーター	3,057名
福祉レクリエーション・ワーカー	8,046名
余暇生活開発士	119名
グル・プレクリエーション・ワーカー	79名
余暇開発士	1,213名
合計	108,269名

7) 資格認定委員会の開催

日本レクリエーション協会の公認指導者資格認定規程に基づく、資格認定審査と認定、審査に関わる検討を行った。

第1回 平成21年10月26日(月)

<議題>

1. 委員長選出
2. 福祉レクリエーション・ワーカー資格認定審査
3. レクリエーション・コーディネーター資格認定審査
4. 課程認定校 平成22年度新規校審査

第2回 平成22年2月16日(火)

<議題>

1. 福祉レクリエーション・ワーカー資格認定審査
2. 課程認定校 平成22年度新規校審査
3. レクリエーションの教育活動や普及活動への協力者に対する関係強化の方法について
4. 企業研修を通じた「余暇開発士」の養成について
5. その他
 - ・平成21年度学内審査の実施方法

第3回 平成22年3月26日(金)

<議題>

1. レク・コーディネーター資格認定審査
2. 課程認定校 平成22年度新規校審査
3. 専門資格および余暇開発士資格の養成カリキュラムについて
4. 平成22年度レク・コーディネーター養成講習会の開催方法
5. レクリエーションの教育活動や普及活動への協力者に対する関係強化の方法について
6. 企業研修を通じた「余暇開発士」の養成について(継続)
7. その他
 - ・平成21年度学内審査実施報告
 - ・平成22年度課程認定校継続申請の経過報告

8) 資格の有効性、価値の明確化、教育方法に関わる調査研究

福祉領域を中心としたレクリエーション活用促進のための調査研究事業

レクリエーションの価値を改めて明らかにするとともに、福祉領域等でのその活用の一層の促進に向けた、以下の事業を実施する。

* 有識者ヒアリングの実施

レクリエーションの価値の明確化や活用促進の方向性、基礎調査研究方法等に関する助言、提言を得ること(成果物の発信、周知を含む)を目的に、介護領域の関係団体、機関、研究者等によるヒアリングを実施した。そこでの助言を活かし、介護職員の生涯教育体系に向けた研修体系策定等及び介護施設、施設団体等との共同開催による研修を行った。また、介護老人保健施設の全国研究集会や岡山県の研究会において、レクリエーション活用の有効性について周知を図った。

* 基礎調査研究の実施(成果物の発信、周知を含む)

上記ヒアリングからの提案、支援も踏まえ、レクリエーションの価値の明確化や活用促進のための基礎データの蓄積、分析及び発信を目的に、市区町村行政の介護者育成モデル事業(川崎市、及びNPO法人。厚生労働省研究助成事業)に参画するとともに、また、通

所りハビリ施設 1カ所でのレクリエーションの利用者の心身機能強化及び介護スタッフの労働意欲等に関する効果把握研究を実施した。

介護職員の研修体系の開発と研修事業の実施

本事業では(1)の成果を踏まえて、介護職員のレクリエーションに関する生涯教育の体系にそって、試行的な介護レクリエーション・セミナーを東京において6会場で行った。また、沖縄県、神奈川県横浜市、神奈川県平塚市、栃木県上三川町の社会福祉協議会と連携して、介護予防及び介護職員向けのレクリエーション研修のカリキュラムを開発し、また研修として実施した。

持続可能性の高い介護予防ボランティアシステム開発

本事業では、栃木県小山市や千葉県鎌ヶ谷市の高齢者担当者セクション等と連携して、レクリエーションを学習したボランティアが実施可能なプログラムを開発、実施するとともにその有効性について検証した。また、こうした実践成果の発信を柱とした、レクリエーション介護予防ボランティアのシンポジウムを東京で開催した。

各種領域で活用可能なレクリエーション・ワークの開発

本事業では、和歌山県教育委員会の事業を受託し、放課後子ども教室等のボランティア育成者向けのレク・ワーク及び研修プログラムを開発し(受講者の反応から評価を行い)、成果は都道府県レクリエーション協会等が活用できる基礎資料(講習資料)として整理した。また、2カ所の社会教育主事研修を受託し、そこでの研修内容の開発と研修受講者の反応を通じたレクワークの及び研修プログラムの開発を行った。

2. 公認指導者への活動支援及び活動促進を通じたレクリエーション運動の推進

(1) 都道府県協会と連携した公認指導者への支援の充実

都道府県レク協会センター機能強化の充実に向け、以下の助成事業を実施した。なお、本年度も共通の課題である新たな人材確保に向けた以下の研修会を中心に実施した。

1) 拠点型事業で活躍するボランティア研修会助成

あそびの城(放課後子ども教室等子どもの居場所づくり)または介護予防事業(いきいきサロン等)のボランティアを育成する研修会を開催する都道府県レク協会、または都道府県レク協会が戦略的に支援する市区町村レク協会、有資格者グループが実施する同研修会に対し、以下の助成を行った。

なお、本助成事業は、研究開発をねらいの1つとして位置づけており、各研修会は本会が提示する枠組みに沿って実施する(運用方法は各地区の実情により実施できる者とする)とともに、その運営ノウハウを収集した。

拠点型事業助成

拠点型事業（「あそびの城」づくり推進事業、介護予防事業など）を支えるボランティア、指導者の確保へ向けた研修会の開催を通じて、新たな人材確保、既存有資格者のフォローアップの機会としても機能することができた。また、本研修会は、修了証制度を活用したレク・インストラクター養成カリキュラムの一部を実施することとした。今後、こうした方々がレク・インストラクターの資格取得へつながることを期待する。

ア. 研修会助成（助成額：1件 30,000円）

* 助成地区：「あそびの城」づくり推進事業 7協会（10地区）

実地団体	実施地区
福島県レク協会	福島市
埼玉県レク協会	さいたま市
千葉県レク協会	四街道市
奈良県レク協会	香芝市
福岡県レク協会	北九州市
佐賀県レク協会	佐賀市、神崎市、多久市、武雄市
長崎県レク協会	長崎市
：介護予防事業 1協会（1地区）	
実地団体	実施地区
青森県レク協会	南郡田舎館

イ. 運営及び研修会助成

* 助成地区：「あそびの城」づくり推進事業 15協会（27地区）

実施団体	実施地区
青森県	むつ市、八戸市
群馬県	高崎市、渋川市、前橋市
千葉県	船橋市、鎌ヶ谷市、袖ヶ浦市、茂原市
新潟県	村上市
石川県	金沢市三和校下、金沢市明成校下
長野県	松本市
岐阜県	可児市、各務原市、大垣市、岐阜市
愛知県	長久手町
兵庫県	高砂市
奈良県	生駒市小明町
鳥取県	鳥取市
島根県	松江市、浜田市
広島県	安佐北区口田
香川県	善通寺市、高松市
長崎県	長崎市
：介護予防事業 5協会（13地区）	
実施団体	実施地区
青森県	青森市（浪館、合浦、浪岡）、八戸市、つがる

	市、むつ市（大湊地区、名部地区）、稲垣地区
千葉県	四街道市
三重県	津市
島根県	浜田市
佐賀県	鳥栖市、佐賀市

- * 助成額：1件 50,000円 / 実施回数が年間 10 回以下の事業
- 1件 60,000円 / 実施回数が年間 11～20 回以下の事業
- 1件 70,000円 / 実施回数が年間 21 回以上の事業

地域組織助成（市区町村レク協会設立） 3協会

3 県レクリエーション協会の支援により、当該地域の有資格者の結集及び関連団体などの協力を得て、有資格者の拠点となる市区町村レクリエーション協会の立ち上げ及び、その体制を整えることができた。また、協会を立ち上げるだけでなく、具体的な事業も展開することができた。

* 実施地区：

実地団体	実施地区
福井県	大野市
長野県	長野県諏訪地域（6市町村）
長崎県	雲仙市

- * 助成額：1件 50,000円

2) 都道府県レクリエーション協会と連携した公認指導者支援の実施

あそびの城づくり推進事業（参加登録地区への支援）

平成 16 年度より文部科学省の「子どもの居場所づくり推進事業（事業委託 / 3 カ年）」としてスタートした「あそびの城」づくり推進事業は、平成 19 年度から自主的なレクリエーション事業として全国で展開しており、平成 21 年度については、趣旨に賛同する都道府県・市区町村のレク協会やレク指導者のグループにより、全国 83 地区（? 実施地区一覧参照）にて事業を展開した。

* 参加登録

- ・本事業に参加登録いただいた各地区の取り組みを全国展開事業として広く PR を行う。
- ・参加登録地区へは、日本レクリエーション協会、都道府県レクリエーション協会の主催（共催、後援など）として実施。
- ・文部科学省、子どもの居場所づくりキャンペーンへの参画

* 広報ツールの提供

- ・横断幕、チラシ等、活動を PR するツール類と合わせ、日本レクリエーション協会サービスセンター用具を支援ツールとして提供。
- ・地域に「あそびの城」を広く PR し、理解や協力を募るため、パンフレットを作成、各地区へ配布。

* 情報の共有、発信

- ・「あそびの城」通信による情報発信及び収集
- ・活動報告、レポート等による情報収集（通信、ホームページ情報の収集）

* 全国レクリエーション大会 IN 長崎にて、ポスターコンテストを実施。

・「あそびの城」実施地区より、普段の活動中に「あそびの城」の魅力をPRするためのポスターを作成、応募いただき、全国レクリエーション大会にて掲示、PR

平成 21 年度「あそびの城」づくり推進事業参加登録実施地区一覧

都道府県	市区町村	実施主体名称	回数	参加者 (1回)
北海道	砂川市	滝川レクリエーション協会	11	30
	帯広市	「あそびの城 『アソ・ピバ』」	20	25
青森県	八戸市	県南レク指導者クラブ	21	30
	むつ市	むつ・下北地区レクリエーション協会	6	30
岩手県	一関市大東町	大東町レクリエーション協会	15	15
	盛岡市	盛岡市レクリエーション協会	15	25
秋田県	秋田市	秋田市レクリエーション協会	15	15
福島県	福島市	福島市レクリエーション協会	16	15
	会津若松市	会津若松スポーツ・レクリエーション協会	31	15
	伊達市	伊達市レクリエーション協会	25	25
茨城県	水戸市	茨城県レクリエーション協会	9	50
	つくば市	つくば市レクリエーション協会	10	30
	坂東市	スポーツクラブさしま	13	50
群馬県	高崎市	群馬地区スポーツクラブあそびの城	25	30
	渋川市伊香保町	伊香保地区「あそびの城」運営委員会	15	30
	前橋市	前レクあそびの城運営委員会	23	30
埼玉県	さいたま市	さいたま市「ななさとあそびの城」運営委員会	60	40
千葉県	鎌ヶ谷市	鎌ヶ谷市レクリエーション協会あそびの城	12	150
	船橋市	NPO法人船橋市レクリエーション協会	10	12
	柏市	柏市レクリエーション協会「あそびの城」	24	20
	四街道市	四街道市レクリエーション協会	28	40
	茂原市	茂原市レクリエーション協会	12	30
東京都	練馬区	泉新小あそびの城	20	40
	八王子市	特定非営利活動法人八王子市レクリエーション協会	22	45
新潟県	長岡市	希望ヶ丘コミュニティ推進協議会	290	50
	村上市	村上市レクリエーション協会	30	17
	新潟市秋葉区	秋葉区「地域課」プチサークル	24	65
石川県	金沢市	(財)石川県レクリエーション協会 あそびの城 実行委員会	22	60
	金沢市	(財)石川県レクリエーション協会 あそびの城 実行委員会	22	15
福井県	福井市	福井県レクリエーション協会 あそびの城実行 委員会	35	15
山梨県	山梨市日下部地区	山梨市レクリエーションクラブ・稲穂の学校	20	12

長野県	松本市	田川地区「あそびの城」運営委員会	50	15
	安曇野市三郷	ハーモニー 学園	40	30
	佐久市小田井	佐久レクリエーション協会	10	25
岐阜県	岐阜市長良	岐阜市レクリエーション協会	22	40
	各務原市川島	川島スポーツレクリエーション協会	35	40
	大垣市	NPO 法人大垣市レクリエーション協会	29	50
	可児市今渡	可児市レクリエーション協会	24	30
静岡県	静岡市	静岡市あそびの城	22	15
	富士宮市	富士宮市レクリエーション協会	10	20
愛知県	愛知郡長久手町	長久手町レクリエーション協会	24	30
京都府	京丹後市網野町	網野あそびの城	31	30
	城陽市	城陽市寺田西地区あそびの城	54	60
	京都市右京区	さかの「あそびの城」運営委員会	40	45
兵庫県	洲本市	レクリエーション企画「あわじ」	12	20
	高砂市	高砂市レクリエーション協会	10	70
奈良県	奈良市	奈良市グリーンホール「あそびの城」	15	20
	大和郡山市	大和郡山市レクリエーション協会	18	20
	香芝市	奈良県レクリエーション協会	24	60
	生駒市	生駒市レクリエーション協会	10	20
鳥取県	米子市	西部レクリエーション協会	40	30
	鳥取市	鳥取市レクリエーション協会	12	30
島根県	松江市	まつえレクリエーション協会	20	20
	浜田市	浜田レクリエーション協会	24	20
岡山県	高梁市	たかはしレクリエーション協会	22	20
	和気町	和話環 KIDS 実行委員会	50	12
広島県	広島市	NPO 法人広島県余暇プランナー協会	20	20
	福山市	あそびの城「ゆうみん」運営委員会	14	10
山口県	宇部市	宇部市レクリエーション協会あそびの城うべ実行委員会	21	40
	山口市	山口県児童センター	52	15
徳島県	海部郡美波町	ゆきあそびの城	20	30
	藍住町	藍住レクリエーションクラブ	20	20
	海部郡美波町	スポーツネットワークひわざ夢くらぶ	40	15
	板野郡松茂町	NPO 法人徳島県レクリエーション協会	6	30
香川県	高松市	高松市レクリエーション協会	36	20
	善通寺市	善通寺あそびの城実行委員会	12	20
高知県	香南市	のいちあそびの城	22	30
福岡県	大野城市	大野城市レクリエーション協会	12	34
	糟屋郡篠栗町	篠栗町「あそびの城」	12	20
	大川市	大川市レクリエーション協会	21	20
	春日市	春日あそびの城	43	20
	北九州市門司区	北九州市レクリエーション協会	11	20
	北九州市八幡西区	北九州市レクリエーション協会	11	20

佐賀県	武雄市	武雄市レクリエーション協会	12	20
	神埼市	神埼市あそびの城	12	50
	佐賀市富士町	佐賀県レクリエーション協会	10	20
	多久市	多久市レクリエーションサークル丹邱	12	20
	佐賀市久保田町	佐賀県一輪車協会	15	20
	上峰町	上峰町レクリエーション研究会	10	20
	三瀬村	佐賀市レクリエーション協会	12	20
長崎県	長崎市	矢の平4丁目子どもを守る会	12	30
	小江原	長崎市小江原地区「あそびの城」	50	30
鹿児島県	伊佐市菱刈	伊佐市レクリエーション協会「あそびの城」運営委員会	9	20

都道府県レクリエーション協会に対する個別経営等の支援事業

都道府県レクリエーション協会のより一層の組織強化を目的とし、各団体からの要請や組織の状況により個別支援を行った。

- ア． 有資格者フォローアップ事業(セミナー等)及び講師トレーニングセミナー等に関するプログラム作成支援及び講師派遣
- イ． レクリエーション・インストラクター養成カリキュラム改訂に伴う説明会支援
- ウ． 各都道府県レクリエーション協会の運営に関する各種会議の開催、加盟団体会議、
- エ． 役員・理事等の会議における、各種アドバイス及び必要に応じた職員の派遣
- オ． 登録制度、人材養成制度改訂案に関する意見交換
- カ． あそびの城の運営及び研修会の開催(モデル開発を含む)に関する支援等
- キ． 都道府県レクリエーション協会の創立記念事業、法人化事業等の式典への役職員の出席

市区町村レクリエーション協会への個別支援

有資格者の活動を基盤とした市区町村レクリエーション協会の育成、活性化を目的に、各団体からの要請や組織の状況により個別支援を行った。

- ア． 訪問活動として、市区町村レクリエーション協会の創立記念事業(式典)へ役職員の派遣を行った
- イ． 市区町村レクリエーション協会へのソフト提案等情報提供事業として、年間2回、地域活動の参考となるようなさまざまな情報を取りまとめて提供した。また財源確保のための方策として、民間助成団体情報や他団体助成についてのさまざまな情報を提供し、その一部については、申請書作成に関するアドバイス等、側面からの支援を行った。なお、これらを都道府県レクリエーション協会にも送付し、都道府県レベルの情報については同様に、市区町村レク協会へ提供してもらうよう依頼した。

(2) 日本協会による直接的な公認指導者支援の実施

1) 情報提供の強化

月刊REC誌の発行 ((財)日本宝くじ協会助成事業)
 公認指導者の多くが携わる高齢者や子どもたちを対象としたレクリエーション活動に役立つ情報提供を中心に制作した。

号 別	特 集
平成21年 4月号	「手書き」でコミュニケーション
平成21年 5月号	子どもがつくる子どもの社会
平成21年 6月号	使える！コーチング
平成21年7、8月合併号	川をまるごと楽しもう
平成21年 9月号	ことばあそびがおもしろい！
平成21年10月号	もっと楽しい まち歩き
平成21年11月号	目指せ！レクの筋力アップ 学びなおしのすすめ
平成21年12、1月合併号	第63回全国レクリエーション大会 IN ながさき
平成22年 2月号	福祉レクの現場で役立つ あそびのアレンジ
平成22年 3月号	子どもの体力アップ 運動ぎらいをなくそう

専門資格取得者向け情報誌の発行・提供

レクリエーション・コーディネーター、福祉レクリエーション・ワーカー、余暇生活開発士の専門資格を持つ公認指導者に向け、公認人指導者が関わる代表的な3つの専門領域についての情報提供を行った。

?良質生活(高齢者、障害者介護領域で活動する方向け)

号別	発行	ページ数	送付方式
9号	平成21年5月	8	月刊REC、09年5月号同封
10号	7月	8	月刊REC、09年7月号同封
11号	11月	8	月刊REC、09年11月号同封
12号	平成22年1月	8	月刊REC、10年1月号に挟み込み

?子どもの笑顔(子どもの健全育成、子育て支援領域で活動する方向け)

号別	発行	ページ数	送付方式
9号	平成21年4月	8	月刊REC、09年4月号同封
10号	7月	8	月刊REC、09年7月号同封
11号	10月	8	月刊REC、09年10月号同封
12号	12月	8	月刊REC、09年12月号に挟み込み

？自適工房（中高年の健康、生きがいづくりの支援等を中心に活動する方向け）

号別	発行	ページ数	送付方式
9号	平成21年6月	8	月刊REC、09年6月号同封
10号	9月	8	月刊REC、09年9月号同封
11号	11月	8	月刊REC、09年11月号同封
12号	平成22年3月	8	月刊REC、10年3月号に挟み込み

ホームページの充実

一般向けサイト、公認指導者専用サイト、都道府県レクリエーション協会サイト、課程認定校サイト、サービスセンターサイト等による情報発信・収集と事務手続きが円滑に行われるよう、管理運営を行った。また、次のサイトの設置、リニューアルを行い、情報提供・発信の強化を図った。

* レク・オンライン

日本レクリエーション協会の公式サイトとして、イベントや資格、研修、用具等の情報をまとめて見ることができ、また、それぞれの専門サイトへの入り口となるよう再編した。

* 全国一斉「あそびの日」キャンペーンサイト

レク・オンラインから直接アクセスでき、必要な情報にアクセスしやすいようリニューアルをした。

* あそびドットネット

都道府県レクリエーション協会や加盟種目団体等のレクリエーションに関わる団体が、それぞれが実施する行事・イベント・研修等の情報を直接発信できるサイトを設置した。また、それぞれの団体に所属する指導者等の情報を掲載する枠も設け、レクリエーションに関わる団体の情報発信を支援する。
(スポーツ振興くじ助成事業)

* 世界あそび事典

加盟種目団体の活動種目や様々なスポーツ、あそびの情報を発信するサイトを設置。動画の掲載やリンクも行き、より具体的に活動内容やルール、あそび方を伝えることができるようにした。今後、上記「あそびドットネット」とも連携し、活動に関連するイベントや指導者の提供も目指す。
(スポーツ振興くじ助成事業)

ニュースリリースの配信

月刊REC誌の配布に合わせ、マスコミ約700社(新聞(全国・地方・スポーツ)、テレビ局、ラジオ局、雑誌、タウン誌等)へのニュースリリースの配信を行った。

- 4月：全国一斉「あそびの日」キャンペーン2009
- 6月：認知症ケアのためのレクリエーション・セミナー
- 7月：遊びと通じた社会貢献 中高年の社会参加(公認指導者PR)
- 8月：第63回全国レクリエーション大会 in ながさき
- 9月：介護レクリエーション・セミナー
- 10月：子どもの居場所づくりサポート・センター

- 1 1月：ロープ・ジャンプ・エクストラ
- 1 2月：介護レクリエーション・セミナー（対象に合わせたアレンジ）
 - 2月：全国一斉「あそびの日」キャンペーン 2010
 - 3月：全国一斉「あそびの日」キャンペーン 2010

3 . レクリエーションの普及・啓発による社会への貢献

(1) 全国レクリエーション大会等、国民一般への啓発事業

1) 第 63 回全国レクリエーション大会 INながさき

主 催：(財)日本レクリエーション協会、長崎県、長崎県教育委員会、
NPO 法人長崎県レクリエーション協会、長崎市、長崎市教育委員会、
長崎市レクリエーション協議会、佐世保市、佐世保市教育委員会、
佐世保市レクリエーション協会、島原市、島原市教育委員会、
諫早市、諫早市教育委員会、諫早市レクリエーション協会、
大村市、大村市教育委員会、大村市レクリエーション協会、
壱岐レクリエーション協会

後 援：文部科学省、他関係省庁

期 日：平成 2 1 年 9 月 1 9 日 (土) ~ 9 月 2 1 日 (月 ・ 祝)

開 催 地：長崎県内各会場

参加対象：レクリエーション関係者、行政、教育関係者、一般市民など

内 容：「研究フォーラム」「種目別全国交流大会」「フェスティバル」
「開会式、式典」

全国各地から 1 万人を超える参加者を得た今大会は、5 連休中の 3 日間晴天に恵まれたなか、開催された。総合開会式のアトラクションでは、長崎女子高等学校による「龍踊り」が披露され、長崎県らしい幕開けとなった。交歓の夕べは、会場を「グラバー園」に移し、大会史上初となる屋外で行った。大浦天主堂の鐘の音を合図にスタートし、港の夜景を見下ろしながら、オペラ「蝶々夫人」に聞き入り、異国情緒を満喫した。また、特別行事等として、離島の魅力をいかしたさまざまな行事を展開した。さらに、運営面でも大会当日に「速報」を出したり、報告書に「スタッフの声」を盛り込むなど、新しい取り組みを行った。全国レクリエーション大会を 4 3 年ぶりに開催した長崎県では、「ながさきらしさ」あふれる多彩なプログラムを展開し、約 2400 名のスタッフが努力と工夫を積み重ね、参加者をあたたかく迎えた大会となった。

2) 全国一斉あそびの日キャンペーン事業

名 称 全国一斉「あそびの日」キャンペーン 2009

テーマ すべては子どもの笑顔のために
サブテーマ：えがおのリレー

開催期間 2009 年 4 月 18 日 (土) ~ 6 月 14 日 (日)

主催 財団法人 日本レクリエーション協会

共催 都道府県レクリエーション協会 財団法人 日本ユースホステル協会
財団法人 休暇村協会 財団法人 公園緑地管理財団

全国後援 文部科学省、厚生労働省、総務省、全国市長会、全国町村会、
財団法人 日本宝くじ協会、社会福祉法人 全国社会福祉協議会、
社団法人 中央青少年団体連絡協議会

協賛企業 株式会社ディーエイチシー、旭化成ライフサポート株式会社

プログラムの内容

子どもや家族を対象として、地域住民のつながりをつくり、子どもたちの育成と子育てのしやすい地域づくりに資する「あそび」をテーマとしたプログラム、活動。なお、本キャンペーンに参画するプログラムは、以下の4項目を満たしていることを条件としました。

事業の安全性に配慮していること

社会的規範からの逸脱がないこと

傷害保険などへ加入すること

収益を目的としていないこと（参加費は、保険料や材料費などの実費程度）

レクリエーション協会関係をはじめ、共催団体を合わせると、全体で1,068のプログラムが展開され、全国で216,115人の参加者がありました。各団体のプログラム数、参加者数は以下のとおりです。

団体名	プログラム数	参加者総数（人）
（財）日本レクリエーション協会	439	105,714
（財）休暇村協会	351	34,547
（財）公園緑地管理財団	19	38,763
（財）日本ユースホステル協会	259	37,091
合計	1,068	216,115

3) 第22回全国スポーツ・レクリエーション祭(スポレクみやざき2009)

主 催：文部科学省、日本レクリエーション協会、日本体育協会、全国体育指導委員連
合、宮崎県

期 日：平成21年10月17日(土)～20日(火)

開 催 地：宮崎県下8市7町

内 容：開・閉会式、都道府県代表参加種目、フリー参加種目、協賛事業、特別行事、
シンポジウム等

「皆来んね 笑顔まんかい 神話の国で」をスローガンに、開催された「スポレクみやざき2009」は、全国から延べ126千人(4日間累計)におよぶ参加者を得て、盛大に開催された。この時期には暑いくらいの「夏」のような陽気のなか、プロ野球の球団やWBCのキャンプ地としても有名な「宮崎県総合運動公園陸上競技場」を会場に、ひむかシンフォニー“鼓動・躍動・感動”を式典テーマに民謡や神楽など宮崎らしさを前面にだしたアトラクションに続き、おそろいの帽子や名産の花などを手にした各県選手団がそれぞれの意気込みなどのアナウンスにあわせて、競技場中央に設けられた選手紹介台に上がって入場した。第2部の歓迎アトラクションは「全員参加型」で、出演者、各県選手団、観覧者の会場全体が一体となって大いに盛り上がった。

また、県内15市町で白熱したプレーや笑顔あふれる交流が繰り広げられた「種目別大会」では、日本レク協会関係の種目として、都道府県代表参加種目5種目とフリー参加種目2種目および協賛事業の4種目が盛大に開催された。

さらに、開会式会場ですばらしい天候に恵まれ、2日間にわたって開催された「特別行事」においては、例年同様、開催地宮崎県レクリエーション協会がボランティアスタッフ一丸となって、各種のニュースポーツ体験コーナーを実施し、趣向をこらしたスタンプラリーの実施などにより、各県選手団や親子連れなどのべ10000名の方々に楽しんでいただいた。

(2) 加盟団体との連携協力による事業

1) 加盟団体運営代表者会議

日本レクリエーション協会に加盟する都道府県レクリエーション協会、種目団体、領域団体が一堂に会し、レクリエーション運動の方向性や課題について検討するとともに、1年間の取り組みを相互に評価する場として、平成21年度加盟団体運営代表者会議を2日間にわたり東京において開催した。

1日目は、都道府県レクリエーション協会、種目団体、領域団体の3つの分科会に分かれ、それぞれが抱える課題についての議論、情報交換を行った。2日目は、都道府県レクリエーション協会との議論、情報交換、本協会から加盟団体へのお願い事項及び各種情報提供を行った。

? 期 日 平成21年12月8日(火)～9日(水) 1泊2日

? 開催会場 国立オリンピック記念青少年総合センター

? 参加者 日本レクリエーション協会加盟団体運営代表者

2) 登録料循環金運用制度づくりに向けた検討会議

新循環金の運用方法に関する議論の場として、各都道府県レクリエーション協会の参加を得て、以下の通り会議を開催した。なお、本会議は、ボランティア育成サポートセンターの設置関連の研修会と同時開催した。

?日時 平成21年10月31日(土)~11月1日(日)

?場所 国立オリンピック記念青少年総合センター

3) ブロックごとの連携・協力

都道府県レクリエーション協会との連携・協調を深めるとともに、全国6ブロックの協力体制の充実及び組織強化・連携調整のための支援を行うため、各ブロックから選出された幹事県と連携し、各種課題について討議するとともに、ブロック間の交流や情報交換の場となる会議を年2回開催、同会議へ職員を派遣した。

?平成21年6月ブロック会議日程・開催地

ブロック名	日程	開催地	幹事県
北海道・東北	6月27日(土)~28日(日)	花巻市	岩手県
関東・甲信越	6月25日(木)~26日(金)	吾妻郡	群馬県
東海・北陸	6月21日(日)~22日(月)	金沢市	石川県
近畿	6月12日(金)~13日(土)	大阪市	大阪府
中国・四国	6月18日(木)~19日(金)	鳥取市	鳥取県
九州・沖縄	6月20日(土)~21日(日)	福岡市	福岡市

?平成21年2~3月ブロック会議日程・開催地

ブロック名	日程	開催地	幹事県
北海道・東北	2月27日(土)~28日(日)	盛岡市	岩手県
関東・甲信越	2月25日(木)~26日(金)	渋川市	群馬県
東海・北陸	2月13日(土)~14日(日)	金沢市	石川県
近畿	2月26日(金)~27日(土)	大阪市	大阪府
中国・四国	3月6日(土)~7日(日)	鳥取市	鳥取県
九州・沖縄	2月27日(土)~28日(日)	鹿児島市	福岡市

4) 子どもの体力向上実践指導講習会 ~ 子どもたちに体を動かす楽しさを伝えよう ~

?期 日:平成22年1月9日(土)~11日(月・祝)

?開催地:国立オリンピック記念青少年総合センター

?共 催:(独)国立青少年教育振興機構、国立オリンピック記念青少年総合センター

子どもたちの体力向上を図るために、ニュースポーツ種目を題材に、体を動かす楽しさを伝える指導法の講習を通じて、より実践的に取り組める指導者を育てることをめざして実施した。参加者には、教員をはじめ青少年教育指導者やレク関係者、大学生など100名弱を得て、最終日には近隣の小学生が参加し、実際に「実践指導」を行い、非常に好評を博した講習会となった。

プログラム内容は、特別講演として、慶應義塾大学体育研究所佐々木教授による子どもの体力向上についての講義。「7種目体験」・「指導法の学習」には、本協会加盟種目の ドッチビー:(NPO法人)日本フライングディスク協会 カバディ:日本カバディ協会 ブーメラン:日本ブーメラン協会 インディアカ:(社)日本インディアカ協会 タッチラグビー:ジャパンタッチ協会 クップ:日本カップ協会準備会 リズムなわとび:日本ロープスキッピング連盟について、各種目団体にご協力いただき、実施した。

5) スポーツ拠点づくり推進事業

小・中・高校生が参加する各種スポーツの全国大会を継続的に開催しようとする市町村及びスポーツ団体の取組みを支援することにより、全国各地に、青少年があこがれ、目標とするスポーツ毎の拠点を形成し、スポーツの振興と地域の再生を推進することを目的とした本事業について、実行委員会メンバーを構成し、実行委員会等を通じて本事業推進への指導助言を行った。

((財)地域活性化センター助成事業)

実施団体
日本マウンテンバイク協会(長野県)平成17年度より実施
日本グラススキー協会(山梨県)平成17年度より実施
日本トランポリン協会(静岡県)平成17年度より実施
日本スポーツチャンバラ協会(静岡県)平成18年度より実施
日本ボールルームダンス連盟(東京都)平成18年度より実施

(3) 国等との連携・協力による生涯スポーツの普及・振興に関わる事業

1) 文部科学省委託事業 「おやこ元気アップ!事業」

子どもの体力向上を推進するために、子どもへの直接的な取組に加え、保護者に対して、子どもの体力向上や生活習慣の重要性について理解を促す本事業について、文部科学省より委託を受けて実施した。各都道府県での実施は、都道府県レクリエーション協会に再委託をして実施した。

実行委員会等の開催

おやこ元気アップ!事業の実施に向けた基本的事項に関する企画・立案及び募集や実施方法を定める委員会を開催した。また、実行委員会で協議すべき事案等について、一部の実行委員と事務局等にて作業部会を設けて協議を行った。

* 実行委員会委員(印は委員長)

全国連合小学校長会 広報部長 青木哲男
(財)日本レクリエーション協会 常務理事兼事務局長 浅野 祥三
全国国公立幼稚園長会 会長 岡上直子
慶応義塾大学体育研究所 教授 佐々木玲子
ルポライター 瀧井宏臣
山梨大学 教育人間科学部 准教授 中村和彦
立教大学 コミュニティ福祉学部 教授 松尾哲矢

都道府県レクリエーション協会事業説明会の実施

平成21年4月18日、24日に、都道府県レクリエーション協会への事業説明会を開催した。

おやこ元気アップ!事業参加者用教材「おやこでtouch!」及びリーフレット等作成、配布

元気アップコーディネーター講習会の開催

平成21年7月4日～5日の二日間で、品川プリンスホテルの会場において、おやこ元気アップ！事業を推進していくコーディネーターを対象とした講習会を開催した。

おやこ元気アップ！事業の実施

都道府県レクリエーション協会より開催申請を受け付け、外部有識者で構成される実行委員会にて選考し116カ所での開催を決定した。なお、新型インフルエンザ等により、10会場の開催中止があり、最終的には106会場で開催した。

団体	開催箇所数	参加者数	団体	開催箇所数	参加者数
北海道レクリエーション協会	4	351名	滋賀県レクリエーション協会	2	470名
青森県レクリエーション協会	3	299名	京都府レクリエーション協会	2	190名
岩手県レクリエーション協会	3	303名	大阪府レクリエーション協会	2	339名
宮城県レクリエーション協会	3	225名	兵庫県レクリエーション協会	3	405名
秋田県レクリエーション協会	2	186名	奈良県レクリエーション協会	4	524名
山形県レクリエーション協会	2	182名	会	2	503名
福島県レクリエーション協会	2	134名	鳥取県レクリエーション協会	2	162名
茨城県レクリエーション協会	2	228名	島根県レクリエーション協会	2	200名
栃木県レクリエーション協会	2	168名	岡山県レクリエーション協会	3	198名
群馬県レクリエーション協会	2	133名	広島県レクリエーション協会	2	152名
埼玉県レクリエーション協会	2	279名	山口県レクリエーション協会	2	114名
千葉県レクリエーション協会	1	103名	徳島県レクリエーション協会	3	369名
会	2	162名	香川県レクリエーション協会	2	240名
東京都レクリエーション協会	1	121名	愛媛県レクリエーション協会	1	106名
新潟県レクリエーション協会	1	164名	高知県レクリエーション協会	4	587名
富山県レクリエーション協会	3	440名	福岡県レクリエーション協会	2	240名
石川県レクリエーション協会	2	342名	佐賀県レクリエーション協会	4	549名
福井県レクリエーション協会	1	103名	長崎県レクリエーション協会	1	71名
山梨県レクリエーション協会	3	323名	熊本県レクリエーション協会	2	233名
長野県レクリエーション協会	1	82名	大分県レクリエーション協会	2	173名
岐阜県レクリエーション協会	2	367名	宮崎県レクリエーション協会	2	358名
静岡県レクリエーション協会	3	231名	会	2	267名
愛知県レクリエーション協会	4	557名	沖縄県レクリエーション協会	2	278名
三重県レクリエーション協会	2	238名	合計		12,449名

「おやこ元気アップ！事業事業報告会議

各団体がおやこ元気アップ！事業を開催した成果と課題を報告し、子どもの体力向上に資する取組のあり方について協議した。

開催日：平成21年2月24日～25日 ベルサール三田

参加者：都道府県の元気アップコーディネーター2名、事務担当者1名の合計116名

調査の実施

以下の調査を実施し、事業の評価を行い、より平成22年度事業企画等に活用した。

ア 元気アップ親子セミナー参加者当日調査

参加保護者約4700名に配票し、4040名から回答を得た。各プログラム内容等についての評価や本事業後に求めるフォローなどを調査。開催会場では、アンケート内容を分析し、事後のレクリエーション支援の基礎情報として役立てた。

イ 元気アップ親子セミナー主催者調査

開催会場において元気アップコーディネーターを担った人を対象として調査し、事前準備以降の活動についての評価や要望等を提供いただいた。

ウ 実施会場視察調査

おやこ元気アップ！事業開催団体のいくつかについて、開催当日の内容等の確認の目的で実行委員会委員および当会事務局が視察調査を行った。

「おやこ元気アップ！セミナー」平成21年度報告書の制作と配布

ホームページの管理運営

ア おやこ元気アップ！事業ホームページの開設

本事業の目的や当日プログラム内容など、本事業を周知する内容を作成し掲載した。

イ おやこ元気アップ！事業の取組地域の情報掲載

平成21年度の取組結果を作成し掲載した。

ウ 子どもの体力向上ホームページの管理運営

広く国民に体力の重要性や・運動スポーツに親しみ体を動かすことの楽しさをアピールするために「子どもの体力向上ホームページ」を開設している。子ども一人ひとりのニーズに対応し、子ども自らが日常生活の中で主体的に運動・スポーツに親しむ態度や習慣を身につけていくことの重要性について情報提供を行った。

平成21年4月～平成22年3月末のアクセス状況 23,051,054件（月平均1,920,921件）。主な更新内容は以下の通り。

1. ポスター 標語の募集および入賞作等の掲載
2. 体育の日中央記念行事・スポーツ祭り2009の募集および開催報告
3. 平成20年度体力・運動能力調査結果の掲載
4. メール等での問い合わせへの対処 など

2) 平成21年度子どもの体力向上キャンペーン「ポスター」及び「標語」の募集と文部科学大臣賞受賞作品等決定

子どもの体力向上や望ましい生活習慣の形成に向け、子どもの体力向上キャンペーン「ポスター」及び「標語」を全国の小学生から募集。下記審査委員会による審査の結果、下記のように文部科学大臣賞受賞作品等を決定。下記の体育の日中央記念行事イベントにて表彰式を行った。

* 期間：平成21年6月1日～6月30日（必着）

* 応募総数：7,576作品（「ポスター」2,159作品、「標語」5,417作品）

< 「ポスター」の部 受賞者 >

* 文部科学大臣賞 * キャンペーン「ポスター」として採用

受賞者 愛知県・林 真穂さん（名古屋市立猪高小学校・小6）

* 財団法人日本レクリエーション協会会長特別賞

受賞者 東京都・安田 玲さん（葛飾区立金町小学校・小3）

その他、財団法人日本体育協会会長賞、体力づくり国民会議議長賞、財団法人日本オリンピック委員会会長賞、独立行政法人日本スポーツ振興センター理事長賞を4名が授賞、入選が4名。

< 「標語」の部 受賞者 >

* 文部科学大臣賞 * キャンペーン「標語」として採用

作 品 「体力は 未来にはばたく 力だよ」

受賞者 茨城県・宮田 将麻くん（潮来市立延方小学校）

* 財団法人日本レクリエーション協会特別賞

作 品 「外遊び 動いて笑って パワー全開」

受賞者 愛知県・中根 真子さん（岡崎市立矢作東小学校・小6）

その他、財団法人日本体育協会会長賞、体力づくり国民会議議長賞、財団法人日本オリンピック委員会会長賞、独立行政法人日本スポーツ振興センター理事長賞を4名が授賞、入選が4名。

3) 平成21年度「体育の日」中央記念行事 スポーツ祭り2009の実施

* 開催期日：平成21年10月12日（月・祝）8時～15時

* 会 場：国立スポーツ科学センター（JISS）、味の素ナショナルトレーニングセンター、西が丘サッカー場（東京都北区西が丘）

* 主 催：文部科学省、（財）日本体育協会、（財）日本オリンピック委員会、（財）日本レクリエーション協会、（独）日本スポーツ振興センター、NPO 法人日本オリンピックアンズ協会、読売新聞社

* 後 援：NHK、（財）JKA、（財）自転車産業振興会、東京都、北区、北区教育委員会、板橋区、板橋区教育委員会

* 参加者総数：のべ12,856名

* 実施内容：開会式、オリンピックふれあい大運動会、おりぴあんふれあいジョギング、各種スポーツ教室、レッツチャレンジおもしろスポーツ、他

4) 生涯スポーツ全国会議2010

文部科学省、関連団体と共に生涯スポーツ環境の整備を目指し、スポーツ振興に携わる各界各層の方々が一堂に会して協議を行った。

* 主催：文部科学省、生涯スポーツ全国会議実行委員会（日本レクリエーション協会、日本体育協会、日本体育施設協会、スポーツ安全協会、全国体育指導委員連合、スポーツ健康産業団体連合会、日本障害者スポーツ協会、埼玉県教育委員会）

* 期日：平成21年2月4日（木）

* 開催地：埼玉県さいたま市

* 参加者：915名

* 内容：全体会（特別講演「スポーツと脳」養老孟司氏）、分科会、展示見学会

5) 総合型地域スポーツクラブ創設支援事業および活動支援事業

（スポーツ振興くじ助成事業）

本事業は、（財）日本レク協会がレクリエーション運動の基本方針として掲げている「レクリエーション有資格者や加盟団体とともに、公益性をより一層高めるレクリエーション活動の展開」を目指し、拠点型事業の実施機会として位置づけて行った。

創設支援地区：北海道札幌市、秋田県秋田市、群馬県吉井町、東京都立川市、愛知県碧南市の5地区

活動支援地区：神奈川県川崎市の1地区

6) 全国いつでもチャレンジ・ザ・ゲーム大会

いつでも、どこでも、やっておもしろく、見て楽しい、記録に挑戦するゲームとして平成元年からスタートしている全国いつでもチャレンジ・ザ・ゲーム大会を行った。

主催 日本レクリエーション協会、都道府県レクリエーション協会

後援 文部科学省

実施期日 平成21年4月1日から平成22年3月31日までの1年間

種目と記録申請件数

(ア) キャッチング・ザ・スティック	240 件
(イ) ロープ・ジャンプ X	788 件
(ウ) ネット・パスラリー	260 件
(エ) ペアリング・キャッチ	1250 件
(オ) ゴム・ダンス "ステップィょん"	271 件
(カ) パス&ゴー	4 件
(キ) ロープ・ジャンピング・10	47 件
(ク) インジヨイ・パスラリー	2 件
(ケ) グループ・バンプ・ダンス	20 件
(コ) リング・キャッチ	8 件
(サ) サークル・ジャンプ	12 件
(シ) ヒューマン・ロコモーション	32 件
(ス) バンプ - ・タイムレース	6 件
(セ) ドリブル・リレー	204 件
(ソ) ドンパ - ・リレー	8 件
(タ) フォート・パスラリー	13 件
(チ) ロープ・ジャンプ・EX	181 件

チャレンジ・ザ・ゲーム普及審判員数 2129名、

チャレンジ・ザ・ゲーム認定員数 336名

7) パナソニック・キッズスクールロープ・ジャンプ・エクストラ全国小学生大会

全国いつでもチャレンジ・ザ・ゲーム大会「ロープ・ジャンプ・エクストラ」種目による小学生大会をフジテレビ株式会社と共催して開催した。

全国7地区（東京、広島、宮城、大阪、愛知、北海道、福岡）及び海外での予選大会のほか、抽選から漏れたために地区予選大会に参加できなかったチームを対象とした「ドリームチャレンジ」予選大会および海外での予選を勝ち上がった16チームを選抜し、平成22年3月21日に東京にて全国大会を開催した。

なお、全国大会は、フジテレビ系列（FNS）を通じて、平成22年4月24日に全国放映を行った。

< パナソニックキッズスクールCUP「ロープ・ジャンプ・エクストラ全国小学生大会」全国大会 >

期日：平成22年3月21日(日)

会場：東京ビッグサイト 西4ホール(東京都)

主催：フジテレビジョン/日本レクリエーション協会

共催：仙台放送/関西テレビ放送/東海テレビ放送/テレビ新広島/北海道文化放送/テレビ西日本

後援：文部科学省

協力：テレビ静岡/岩手めんこいテレビ/秋田テレビ/さくらんぼテレビ/福島テレビ/新潟総合テレビ/長野放送/富山テレビ/石川テレビ/福井テレビ/山陰中央テレビ/岡山放送/テレビ愛媛/高知さんさんテレビ/サガテレビ/テレビ長崎/テレビ熊本/テレビ大分/テレビ宮崎/鹿児島テレビ/沖縄テレビ/

北海道レクリエーション協会/宮城県レクリエーション協会/東京都レクリエーション協会/愛知県レクリエーション協会/大阪府レクリエーション協会/広島県レクリエーション協会/福岡県レクリエーション協会

特別協賛：パナソニック株式会社

出場チーム：以下の通り

1位：東海市立横須賀小学校ザ・横須賀トエンティズ

2位：岡山市立旭操小学校・チーム勝井

3位：小平市立学園東小学校・学園 Jump Starta

8)「チャレンジ・デー2009」(財)笹川スポーツ財団主催への事業協力

チャレンジ・ザ・ゲームは、平成13年度より笹川スポーツ財団が主催する「チャレンジ・デー」事業の「全国共通イベント」(参加自治体で、同じ種目を共通実施し記録を競う)の公式種目として参画している。平成21年度は、ロープ・ジャンプ "X" とドリブル・リレー、ペア・リングキャッチの3種目を実施した。

ロープ・ジャンプ "X" 506チーム

ペア・リングキャッチ 13チーム

9) 子どもと高齢者の身体活動を推進する事業企画・運営者研修会

地域において、子どもと高齢者に対するスポーツ・レクリエーションを活用した身体活動の機会を提供できる人材を養成するために、研修会を実施した。3コースに分けて実施した研修会では、1期として事業を運営する組織・グループに必要とされるマネジメントスキルの修得、

2期として、マーケティングや事業の企画など、プランニングスキルの修得、そして3期として実際に市民への事業提供の場面を想定した事業シミュレーションを中心に学習を進め、実践力の修得に焦点を当てて開催した。

(スポーツ振興基金助成事業)

開催地	開催日程	会 場	コース	参加者数
東京	6月20日～21日	新宿ニューシティホテル (東京都新宿区)	期	28名
大阪	6月27日～28日	大阪社会体育専門学校 (大阪市天王寺区)	期	21名
大阪	8月22日～23日	大阪社会体育専門学校 (大阪市天王寺区)	期	25名
東京	8月29日～30日	新宿ニューシティホテル (東京都新宿区)	期	26名
大阪	9月26日～27日	大阪社会体育専門学校 (大阪市天王寺区)	期	20名
東京	10月3日～4日	新宿ニューシティホテル (東京都新宿区)	期	19名
合 計				139名

(4) 情報提供の促進

1) 指導誌出版・・・ページに記載

2) REC 特別増刊号の発行

第48号 高齢者いきいきあそび集 第7集

((財)日本宝くじ協会助成事業)

3) 自主出版

レクリエーションガイドブック 第38号

「多様な動きをつくるあそび集」

((財)日本宝くじ協会助成事業)

4) DVD制作

介護予防活動を支援するためのレクリエーションのDVD

「用具を用いたレクリエーションのいろいろ」

((財)日本宝くじ協会助成事業)

福祉レクリエーション普及DVD

「歌を使った福祉レクリエーションの進め方」

((財)日本宝くじ協会助成事業)

5) パンフレット制作

「“遊び”を通じて見守り、寄り添い、趣味を活かして豊かな経験を提供」

「子どもの主体性・協調性を育むメニューの展開とボランティア・チーム運営の留意点」

「高齢者の元気づくり応援団読本」

((財)日本宝くじ協会助成事業)

(5) その他のレクリエーション活動の普及・啓発に関わる事業

1) 理事会

第1回 平成21年5月29日(金) 16:00~18:00 中野サンプラザ

<議題>

平成20年度事業報告(案)について
平成20年度収支決算報告(案)について
評議員の選出について
顧問の委嘱について
報告事項

第2回 平成21年6月10日(水) 15:00~17:00 中野サンプラザ

<議題>

会長の互選について
副会長の互選について
常務理事の互選について
新公益法人制度施行関連事項について
全国レクリエーション大会の開催について

第3回 平成22年3月29日(月) 15:00~17:00 中野サンプラザ

<議題>

平成22年度 事業計画(案)について
平成22年度 収支予算(案)について
報告事項
・平成21年度評議員の変更について
・公益法人改革への対応の進捗状況について

2) 評議員連絡会議 ・ 評議員会

評議員連絡会議

平成21年5月18日(月) 13:00~15:30 中野サンプラザ

<議題>

新公益法人制度施行に伴う(財)日本レクリエーション協会改革の骨子について
(財)日本レクリエーション協会における最初の評議員の選任方法について
その他

評議員会

平成21年5月29日(金) 13:00~15:00 中野サンプラザ

<議題>

平成20年度事業報告(案)について
平成20年度収支決算報告(案)について
平成21年度事業計画及び収支予算について
理事および監事の選出について

新公益法人制度施行関連事項について

報告事項

- ・第62回全国レクリエーション大会（岩手）終了報告
- ・第21回全国スポーツ・レクリエーション祭（滋賀）終了報告
- ・第63回全国レクリエーション大会（長崎）について
- ・第22回全国スポーツ・レクリエーション祭（宮崎）

3) 国際機関との提携及び連絡協調

- (1) 全米レクリエーション・公園協会（NRP A）との「公園・レクリエーション分野における専門家・技術者及び市民の国際交流に関する議定書」に基づく交流

全米レクリエーション公園大会（開催地：ソルトレイクシティ）に、評議員 福田芳則 氏と職員を派遣し全米レクリエーション公園協会会員及びスタッフとの交流をはかった。

第63回全国レクリエーション大会INながさきに全米レクリエーション・公園協会より、ロバート・ホール氏はじめ3名を招請し、大会の視察並びにレクリエーション協会関係者との交流をはかった。

- (2) 第63回全国レクリエーション大会INながさきに中国国家体育総局社会体育指導センターより6名を招請し、大会の視察並びにレクリエーション協会関係者との交流をはかった。

- (3) 第63回全国レクリエーション大会INながさきに社団法人 韓国余暇レクリエーション協会より14名が参加し、大会の視察並びにレクリエーション協会関係者との交流をはかった。

- (4) 第63回全国レクリエーション大会INながさきに財団法人 2010 春川ワールドレジャー組織委員会より3名が参加し、大会の視察並びにレクリエーション協会関係者との交流をはかった。また、大会期間中、財団法人 2010 春川ワールドレジャー組織委員会スタッフによる「2010 春川ワールドレジャー総会及び競技大会」の告知・PR 活動も行われた。

- (5) 日本スポーツ・フォア・オール協議会（TAFISA・JAPAN）の構成団体として、年次事業に参画した。

4) 顕彰・褒章制度の整備

- (1) 生涯スポーツ功労者表彰（文部科学大臣表彰）

地域におけるスポーツ・レクリエーションの健全な普及及び発展に貢献し、功績顕著なレクリエーション指導者を、日本レクリエーション協会が推薦し下記の方々が生涯スポーツ功労者として認められ、平成21年10月9日（金）中央合同庁舎第7号館3階講堂（東京都千代田区）にて文部科学大臣より表彰された。

小島 勝子 氏	(特非)岩手県レクリエーション協会 理事長
高橋 良枝 氏	渋川市スポーツレクリエーション協会 理事
松戸 良一 氏	柏市レクリエーション協会 会長
辻岡 世紀子氏	福井県レクリエーション協会 事務局長
松田 正己 氏	滋賀県レクリエーション協会協議会 副会長
白垣 伍男 氏	佐賀県レクリエーション協会 理事長
森 シヅ子 氏	鹿児島県薩摩川内市レクリエーション協会 会長
東條 瑞穂 氏	日本エスキーテニス協会 理事
城門 政文 氏	香川県ドッジボール協会 理事長
内山 則子 氏	(社)全国子ども会連合会 主幹

(2) 文部科学大臣社会教育功労者表彰

平成21年度は、本協会理事で(財)石川県レクリエーション協会会長の神谷ますみ氏が受賞されました。

(3) 内閣府 エイジレス章

内閣府では、65歳以上で自由にいきいきとした生活を送ること(「エイジレスライフ」)を積極的に行っている高齢者や団体などを広く紹介している。

平成21年度は、埼玉県レクリエーション協会所属の清水良隆氏が受章された。

(4) レクリエーション運動普及振興功労者表彰(会長表彰)

レクリエーション運動の普及・発展に多大なる功績をあげた方を、加盟団体より推薦を受け、長崎県で開催された、「第63回全国レクリエーション大会INながさき」において表彰した。

* 被表彰者 都道府県レクリエーション協会推薦	113名
* 種目・領域加盟団体推薦による推薦	12名
合 計	125名

(5) 紺綬褒章

日本レクリエーション協会は、平成10年12月17日に紺綬褒章の申請団体に認定された。なお、平成21年度は、紺綬褒章の該当者はなかった。

4. レクリエーション活動のための教材・用具等の販売

21年度は、特にユーザー、団体へのカタログやユーザー別楽しみ方記載のパンフレット等のきめ細かい送付に留まらず、レクリエーション事業での展示とともに、楽しみ方の体験コーナーの設置なども積極的に対応した。高齢者向けゲーム用具や一部のニューススポーツ関係用具は前年に比べて若干の増加となったが、全体では昨年度に比べて若干の減少になった。

しかし、個人ユーザーへの対応として、カタログのホームページ上での閲覧などの工夫による今後の販売促進を期待する。

[平成21年度 加盟団体一覧]

(1) 都道府県レクリエーション協会

1	北海道レクリエーション協会	25	滋賀県レクリエーション協会
2	青森県レクリエーション協会	26	京都府レクリエーション協会
3	(特非)岩手県レクリエーション協会	27	(財)大阪府レクリエーション協会
4	(特非)宮城県レクリエーション協会	28	(特非)兵庫県レクリエーション協会
5	秋田県レクリエーション協会	29	(特非)奈良県レクリエーション協会
6	山形県レクリエーション協会	30	和歌山県レクリエーション協会
7	福島県レクリエーション協会	31	鳥取県レクリエーション協会
8	茨城県レクリエーション協会	32	島根県レクリエーション協会
9	栃木県レクリエーション協会	33	岡山県レクリエーション協会
10	群馬県レクリエーション協会	34	広島県レクリエーション協会
11	埼玉県レクリエーション協会	35	(社)山口県レクリエーション協会
12	千葉県レクリエーション協会	36	(特非)徳島県レクリエーション協会
13	(特非)神奈川県レクリエーション協会	37	(特非)香川県レクリエーション協会
14	(社)東京都レクリエーション協会	38	(特非)愛媛県レクリエーション協会
15	(社)新潟県レクリエーション協会	39	高知県レクリエーション協会
16	富山県レクリエーション協会	40	(特非)福岡県レクリエーション協会
17	(財)石川県レクリエーション協会	41	佐賀県レクリエーション協会
18	福井県レクリエーション協会	42	(特非)長崎県レクリエーション協会
19	山梨県レクリエーション協会	43	熊本県レクリエーション協会
20	長野県レクリエーション協会	44	大分県レクリエーション協会
21	(特非)岐阜県レクリエーション協会	45	宮崎県レクリエーション協会
22	静岡県レクリエーション協会	46	鹿児島県レクリエーション協会
23	愛知県レクリエーション協会	47	沖縄県レクリエーション協会
24	(社)三重県レクリエーション協会		

(2) 種目別加盟団体

1	国際スポーツチャンバラ協会	2 2	(特非) 日本ティーボール協会
2	(社) 日本 3 B 体操協会	2 3	(社) 日本トランポリン協会
3	日本ロープスキッピング連盟	2 4	(社) 日本ネイチャーゲーム協会
4	日本カバディ協会	2 5	日本パドルテニス協会
5	(社) 日本ウオーキング協会	2 6	(社) 日本ビリヤード協会
6	(社) 日本一輪車協会	2 7	(特非) 日本水中スポーツ連盟
7	(社) 日本インディアカ協会	2 8	日本ブーメラン協会
8	日本エスキーテニス連盟	2 9	(社) 日本フォークダンス連盟
9	(社) 日本オート・キャンプ協会	3 0	(特非) 日本フライングディスク協会
1 0	(公益社団) 日本グラススキー協会	3 1	日本フリーテニス連盟
1 1	(特非) 日本クリケット協会	3 2	日本マウンテンバイク協会 (JMA)
1 2	(財) 日本ゲートボール連合	3 3	日本ユニカール協会
1 3	日本コーフボール協会	3 4	日本レクリエーション卓球連盟
1 4	日本シャトルボール協会	3 5	(特非) ローンボールズ日本
1 5	日本スケートフォークダンス協会	3 6	(特非) 日本ペタンク協会
1 6	日本ターゲット・バードゴルフ協会	3 7	(財) 日本ボールルームダンス連盟
1 7	(社) 日本ダーツ協会	3 8	(特非) 日本マレットゴルフ協会
1 8	ジャパントッチ協会	3 9	(財) 日本釣振興会
1 9	日本チュックボール協会	4 0	(一般社団) 日本キンボール スポーツ連盟
2 0	(一般財団) 日本ドッジボール協会	4 1	(社) 日本スポーツ吹矢協会
2 1	JPDGA 日本ディスクゴルフ協会		

(3) 領域別加盟団体

1	(財) 休暇村協会	8	(財) 日本スポーツクラブ協会
2	(社) 全国森林レクリエーション協会	9	(社) 日本青伸会
3	全国福祉レクリエーション・ネットワーク	1 0	日本余暇生活開発士・相談員会
4	(財) 日本 Y W C A	1 1	(財) 日本レジャー・スポーツ振興協会
5	(財) Y M C A 同盟	1 2	(特非) 日本ワールドゲームズ協会
6	(財) 日本健康スポーツ連盟	1 3	全国レクリエーション・コーディネーター・ネットワーク
7	日本市民スポーツ連盟 (J V A)	1 4	(社) 全国子ども会連合会

[平成21年度都道府県別公認指導者数一覧]

(平成22年3月31日現在)

	所属協会	指導者数	レク・イン ストラク ー	余暇生活 相談員	レク・コ ー ディネータ ー	福祉レク・ ワーカー	余暇生活 開発士	グルーブ クワーカー	余暇開発士	のべ数
01	北海道レク協会	5,301	5,196	1	123	76	2	1	6	5,405
02	青森県レク協会	1,768	1,690	0	30	120	1	3	1	1,845
03	(特)岩手県レク協会	1,521	1,456	1	59	76	0	3	3	1,598
04	(特)宮城県レク協会	2,548	2,304	1	101	211	1	1	4	2,623
05	秋田県レク協会	946	885	0	39	46	0	0	6	976
06	山形県レク協会	732	641	0	19	97	1	0	7	765
07	福島県レク協会	1,886	1,795	4	46	110	1	3	7	1,966
08	茨城県レク協会	2,426	2,069	5	65	435	3	3	20	2,600
09	栃木県レク協会	1,815	1,736	2	43	271	0	1	9	2,062
10	群馬県レク協会	2,166	2,094	0	31	184	1	0	8	2,318
11	埼玉県レク協会	3,098	2,961	12	96	152	6	3	40	3,270
12	千葉県レク協会	3,546	3,403	9	106	163	11	5	58	3,755
13	(特)神奈川県レク協会	3,399	3,254	8	111	107	10	3	53	3,546
14	(社)東京都レク協会	6,393	5,985	30	256	390	15	8	147	6,831
15	(社)新潟県レク協会	3,689	3,577	22	111	761	1	4	274	4,750
16	富山県レク協会	1,232	1,186	1	46	36	0	0	10	1,279
17	(財)石川県レク協会	858	828	1	29	45	1	0	7	911
18	福井県レク協会	802	743	2	38	106	0	0	5	894
19	山梨県レク協会	411	394	1	13	11	0	0	6	425
20	長野県レク協会	1,529	1,474	1	48	78	2	2	13	1,618
21	(特)岐阜県レク協会	1,650	1,557	3	45	158	0	0	8	1,771
22	静岡県レク協会	2,621	2,495	4	73	224	3	3	19	2,821
23	愛知県レク協会	4,381	4,111	9	169	337	6	1	10	4,643
24	(社)三重県レク協会	1,640	1,567	3	68	102	1	3	10	1,754
25	滋賀県レク協会	725	663	1	33	67	1	0	10	775
26	京都府レク協会	1,298	1,225	2	60	83	1	1	10	1,382
27	(財)大阪府レク協会	4,814	4,445	6	200	349	10	3	85	5,098
28	(特)兵庫県レク協会	4,293	4,052	29	111	352	7	3	154	4,708
29	(特)奈良県レク協会	600	566	2	25	28	2	0	18	641
30	和歌山県レク協会	921	880	1	30	79	1	0	8	999
31	鳥取県レク協会	648	629	0	15	40	1	1	2	688
32	島根県レク協会	1,238	1,203	0	32	52	1	4	4	1,296
33	岡山県レク協会	2,158	1,962	1	72	472	2	0	11	2,520
34	広島県レク協会	3,389	2,905	12	96	480	4	2	44	3,543
35	(社)山口県レク協会	1,803	1,747	2	49	170	3	4	9	1,984
36	(特)徳島県レク協会	1,173	997	0	15	175	0	0	8	1,195
37	(特)香川県レク協会	1,484	1,462	0	16	42	0	0	6	1,526
38	(特)愛媛県レク協会	2,128	2,057	4	35	139	1	3	8	2,247

39	高知県レク協会	1,100	1,081	0	13	29	0	1	2	1,126
40	(特)福岡県レク協会	4,801	4,594	19	170	213	9	4	54	5,063
41	佐賀県レク協会	1,175	1,147	2	16	243	1	0	8	1,417
42	(特)長崎県レク協会	2,038	1,996	1	38	92	1	4	13	2,145
43	熊本県レク協会	2,061	2,023	0	27	69	1	1	4	2,125
44	大分県レク協会	1,591	1,511	0	70	75	2	0	8	1,666
45	宮崎県レク協会	1,594	1,548	1	54	49	2	1	1	1,656
46	鹿児島県レク協会	2,093	1,919	2	56	385	3	0	10	2,375
47	沖縄県レク協会	1,586	1,536	1	59	67	0	0	5	1,668
	合計	101,069	95,549	206	3,057	8,046	119	79	1,213	108,269